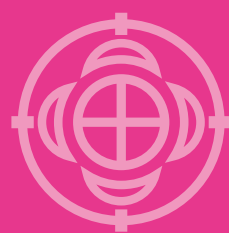




投票で人気を競う「NINNIKU 料理オンリー1グランプリ」

田子町 議会だより

2018



第95号

平成30年4月25日発行
青森県田子町議会

目次

平成30年度予算が決まる	2
議案35件を審議	4
一般質問に3議員登壇	6
総務・文教常任委員会視察	11

3月定例会

定例会のあらまし

平成30年第1回定例会は3月2日から9日までの8日間の会期で開催されました。

2日には宮村尚哉議員から動議が出され、沢口博二議員に対する辞職勧告決議案が提出され可決されました。

(提案理由 平成29年12月11日に行われた平成29年田子町議会第4回定例会一般質問において、議会並びに議員に対する不適当な発言があり、これは議員の資質に欠けるばかりではなく、議会の品位を著しく傷つけるものであるため、沢口博二議員の辞職を勧告する。)

5日の一般質問には3人の議員が、6日の施

平成30年度予算を認定

予算特別委員会で平成30年度予算を審査

平成30年度当初予算について、予算特別委員会を設置し、3月7日から9日までの日程で審査しました。委員長に尾形憲男議員が、副委員長に日沢一雄議員が選任され、厳正な審査が行われました。主な質疑を要約して掲載します。

歳出

若者定住・移住促進住宅料助成金 432万円

他5件

問 日沢委員
若者定住・移住促進住宅料助成金など6事業の実績は。

答 中澤住民課長

「若者定住・移住就労者促進奨励金」は、平成26年から28年の内に田子町で引き続き3年間会社に勤めた方に奨励金を支給するもの。平成29年から支給が始まっているが、支給実績はない。「若者定住・

平成30年度当初予算について、予算特別委員会を設置し、3月7日から9日までの日程で審査しました。委員長に尾形憲男議員が、副委員長に日沢一雄議員が選任され、厳正な審査が行われました。主な質疑を要約して掲載します。

健康ポイント記念品 14万円

問 欠端委員
健康ポイントの実績は何人か。

答 富岡健康増進課長

「若者定住・移住促進住宅料助成金」は13人に助成。「定住・移住促進通勤支援助成金」は191人に助成。「結婚祝い金」は平成27年度にスタートし、今まで

人ほど町内にいるが、サロン活動をするとき、認知症の防止や運動等を見て、ポイントカードにスタンプをつけている。

ロッジカウベル 改修工事 1400万円

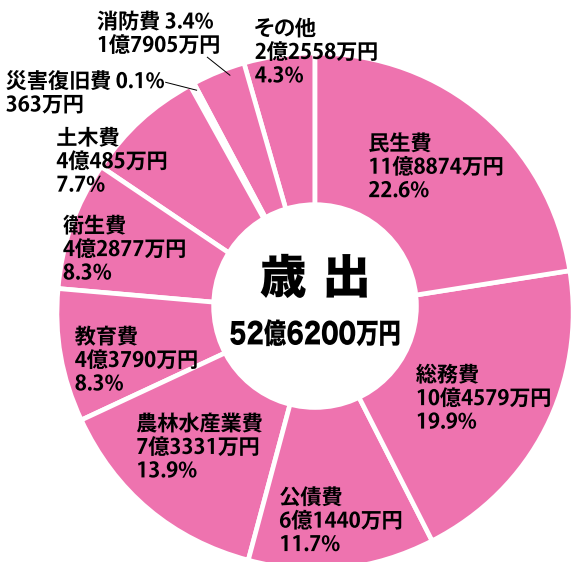
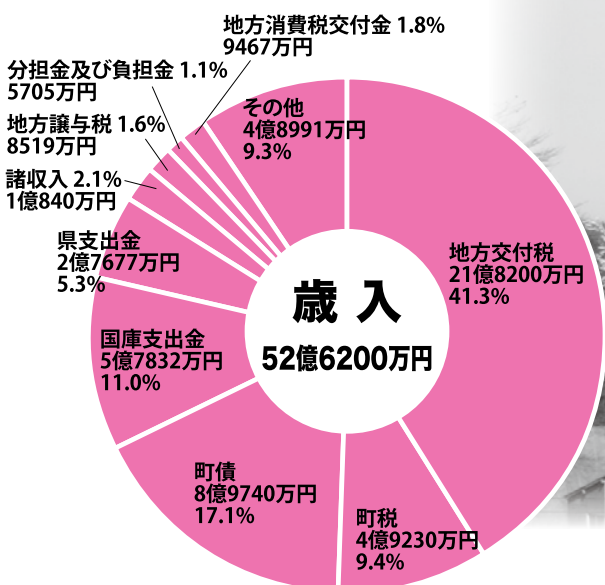
問 宮村委員
ロッジカウベルを直した後の運営や経営はどうするのか。

答 工藤産業振興課長

具体的にはまだ決めていない。将来的に町で宿泊業ができるように改修し、大学等と連携して人を連れてきて宿泊できるようにしたい。管理は町がやるのか、指定管理にお願いするかは建物を直した後になる。見積もりを取ったら5000万円近い金額の見積もりがきた。予算がつけば2年から3年程度かかると考えている。

田子小学校からの町の風景

グラフで見る
平成30年度一般会計予算



●平成30年度各会計の予算額

会計区分	予算額
一般会計	52億6200万円
特別会計	
国民健康保険事業	9億5660万円
後期高齢者医療	7120万円
介護保険事業	10億450万円
田子町立田子診療所及び介護老人保健施設事業	4億2700万円
合計	77億2130万円

会計区分		歳入	歳出
企業会計	水道事業		
	収益的収入	1億6043万7千円	—
	収益的支出	—	1億5770万円
	資本的収入	1億6493万1千円	—
	資本的支出	—	2億4040万円

政方針に対する質問には1人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。その後、平成30年度予算を除く議案29件について審議しました。

予算特別委員会は7日から9日にかけて行われ、平成30年度の一般会計予算と5特別会計予算について認定すべきものと決しました。

水道事業特別会計

問 蹴揚委員
八戸企業団との統合はどの程度話が進んでいるか。

答 中山建設課長
平成28年度、29年度は担当者レベルで、

どういうものから広域連携ができるのか勉強会を開催し話し合っている段階。統合に向けては副企業長と町担当者が話す機会があり、

正式にはないが本格的な話し合いをするのであれば進めましょうと話していた。あとは町長、副町長含め進めていきたいと考えているが、課題が多く、簡単ではないと企業団は話していた。

総括質疑

問 宇藤委員
療養費、サービス医療費が軒並み減額傾向にあるが、どのように考えているか。

答 中澤住民課長
被保険者の数が減少傾向で会計上の歳入歳出は減る方向になると思うが、今後は団塊の世代が75歳以上となり、後期高齢医療の被保険者が増える傾向に

ある。1人当たりの医療費も増えている状況にあるので、この会計は歳入歳出とも若干増えていく傾向にあるうかと思っている。

答 福田診療所事務長
診療所の患者数は毎年減少傾向にある。要因は町民の方の施設への入所や入院等あると思われる。他の医療機関に行っているかどうか分析はしていない。

審議結果

補正予算や条例改正など、35件の議案が提出され、議長を除く9名の議員が審議しました。結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第1号	平成30年度田子町一般会計予算について	原案可決 (賛9・否0)
議案第2号	平成30年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛9・否0)
議案第3号	平成30年度田子町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決 (賛9・否0)
議案第4号	平成30年度田子町介護保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛9・否0)
議案第5号	平成30年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計予算について	原案可決 (賛9・否0)
議案第6号	平成30年度田子町水道事業特別会計予算について	原案可決 (賛9・否0)
議案第7号	田子町集会施設等に係る指定管理者の指定について 町内の35集会施設の指定管理の期間が3月で終了するため、自治会等に引き続き管理をお願いするもの。 指定期間：平成30年4月1日から平成35年3月31日まで（5年間）	原案可決 (賛9・否0)
議案第8号	田子町老人福祉センターに係る指定管理者の指定について 指定管理者：社会福祉法人田子町社会福祉協議会 指定期間：平成30年4月1日から平成33年3月31日まで（3年間）	原案可決 (賛9・否0)
議案第9号	大黒森施設に係る指定管理者の指定について 指定管理者：株式会社コアライン 指定期間：平成30年4月1日から平成33年3月31日（3年間）	原案可決 (賛9・否0)
議案第10号	田子町ガーリックセンターに係る指定管理者の指定について 指定管理者：一般財団法人田子町にんにく国際交流協会 指定期間：平成30年4月1日から平成33年3月31日まで（3年間）	原案可決 (賛9・否0)
議案第11号	田子町課設置条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第12号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第13号	田子町特別職の職員の給料等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第14号	職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第15号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第16号	田子町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第17号	田子町国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)

議案第18号	田子町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第19号	田子町介護保険条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第20号	田子町道路占用料等徴収条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第21号	町道路線の変更について 路線名：飯豊佐羽内線、佐羽内向線	原案可決 (賛9・否0)
議案第22号	町道路線の認定について 路線名：堅田上ミ似田線、館越線1号、長畑線	原案可決 (賛9・否0)
議案第23号	田子町職員の修学部分休業に関する条例の制定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第24号	田子町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第25号	田子町職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	同意可決 (賛9・否0)
議案第26号	田子町職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第27号	田子町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の制定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第28号	田子町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第29号	田子町監査委員の選任について 氏名 高沢靖直 任期 平成30年4月1日～平成34年3月31日（4年間）	同意可決 (賛9・否0)
議案第30号	平成29年度田子町一般会計補正予算（第6号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第31号	平成29年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第32号	平成29年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第33号	平成29年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第34号	平成29年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛9・否0)
議案第35号	平成29年度田子町水道事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決 (賛9・否0)

一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。3月定例会では議員3人が一般質問を行いました。掲載内容は、質問者が要約し執筆しています。



欠端則夫 議員

観光資源とサイン化計画

【質問1】

他地区からの流入人口を増やすために観光資源の発掘を行い、町民から奇木や変わった景色等の情報を集めてはどうか。

【町長答弁】

当町の観光振興には田子町観光協会が大きな役割を担っている。田子町観光協会では、観光地の発掘とあわせて観光資源と認めるものについて観光地指定

を行っており、その他の観光資源を含めて田子町観光協会ホームページで情報発信している。

このことから、引き続き、田子町観光協会には新たな観光資源の情報収集や観光地指定情報発信を担っていただきたい。

【質問2】

観光資源に小さくても良いので看板を立てホームページに載せる考えはあるか。

【町長答弁】

看板設置については、田子町サイン整備事業の趣旨に沿う箇所については、田子町サイン整備事業の中で考えたと思うが、小さい看板等は景観上の配慮から町での設置は考えていない。

【質問3】

今までに観光資源を情報提供してもらったものはどういうものがあったか。

【町長答弁】

蛇王の松の情報提供が発端で6本の樹木が天然記念物として町指定に至り、町の観光PRにつながっている。

僻地の1人暮らし者への冬期支援

【質問1】

さまざまな理由で一人暮らしをしているお年寄りが当町にもたくさんいるが、当町でも新郷村のような共同生活住宅を用意する気はないか。

【町長答弁】

質問の内容は、新郷村にある冬季コミュニティハウス「和の家(わのいえ)」のことと思われる。建物は村が所有し管理運営は新郷村社会福祉協議会が行っている。当町では、せせらぎの郷が建物の2階にある9部屋を高齢者向けの居住施設として提供している。事業の運営については、田子町社会福祉協議会に業務委託するという形で行

【質問2】

空き家を借り上げて利用できないか。

【町長答弁】

今後、入居希望者が定員を超えてしまう可能性も考えられるので、せせらぎの郷だけではなく、ほかに活用できる場所が町内にないか、空き家を含め検討して参りたい。



町指定天然記念物の蛇王の松



沢口博二 議員

国保税について

【質問1】

国保税の県への制度
移管により、具体的に
どう変わるのか。

【町長答弁】

県と町が保険者とな
り、国保税額を県が決
定し、町がそれを県に
納付する。これにより
町の国保財政は大きく
安定する。

【質問2】

町民が値上がりを中心
配しているが、税負担
はどのようになるか。

【町長答弁】

国保財政は、2分の
1ずつを被保険者と町

職員の再任用について

【質問1】

再任用の効果は出て
いるのか。

【町長答弁】

1点目として、複雑
高度化する行政課題へ
の対応が的確に行える
こと、2点目は人的資

源の有効活用が図られ
ている点である。

【質問2】

再任用の一部を独立
させ、よろず相談係と
して活用できないか。

【町長答弁】

現在は考えていない
が、福祉や介護などに
関する相談業務につい
ては、経験豊富な再任
用職員の活用は十分考
えられるものと思っ
ている。

田子1号(にんにく種苗)について

【質問1】

今後の保存・育成・
管理の体制を説明して
欲しい。

【町長答弁】

当面の間は、独立行
政法人青森県産業技術
センターとの契約にお
いて保存し、育成・管
理は、にんにく振興室
が中心となり、適正に

進めてまいる。

【質問2】

農協、各種苗メーカ
ーとの連携は考えてい
るか。

【町長答弁】

当面は町が管理する
ため、そのようなこと
は現在考えていない。

指定管理者について

【質問1】

創遊村の指定管理者
は、どのように管理し
ていくのか。

【町長答弁】

管理はこれまでと同
じ草刈り、燻煙、イベ
ント開催を継続し、新
たにドローンを利用し
た企画に取り組んでい
くと聞いている。

【質問2】

和牛資源管理センタ
ーも指定管理者に任せ
るのか。

【町長答弁】

所有者(青森県産業
技術センター)からの
打診はあるものの、現
在は具体的な方向性は
定まっておらず、今後、
協議の予定である。

職員の残業について

【質問1】

残業の実態につい
て、どのように把握し
ているか。

【町長答弁】

1人当たり1ヶ月平
均8・2時間であり、
産業振興課は19時間弱、
建設課は16時間、住民
課は13時間である。

【質問2】

サービス残業のうわ
さが絶えないが、実態
を調べたことはあるか。

【町長答弁】

予算措置の執行率は
平均で64%あまりで、
多い部署でも90%弱で
あるため、サービス残
業は無いものと考えて
いる。

入札制度について

【質問】

清水頭小学校の約7
00万円の追加工事が
あったが、設計そのも
のに問題があったので
はないか。

【町長答弁】

今回の設計は、目視
確認による設計が主で
あったこと、足場等整
備により初めて確認で
きた箇所等があり、追
加工事の運びとなった。



宮村尚哉 議員

人口減少対策と婚活支援

【質問1】

当町では縁結びプランナー事業、結婚祝い金支給、町後継者育成事業などがあるが、事業内容と実績を伺う。

【町長答弁】

縁結びプランナーは14人が登録しており、活動により結婚に至った実績は1組。結婚祝い金支給事業では、3年間で25組に支給し、そのうち19組の夫婦は、出生により子どもの加算も受給されている。町後継者育成事業は「タンポポの会」に助成を行っており、3年間

で8回の交流会を開催。延べ62人が参加しているが、結婚までに至ったカップルは把握出来ていない。

【質問2】

後継者育成事業の3年間で行われた交流会の内容と参加人数は。

【町長答弁】

平成27年度は、3回企画し、男性19人、女性15人の34人。平成28年度も3回ほど企画したが、女性参加者なしで中止。平成29年度は2回企画し、男性18人、女性

10人の28人。3年間でイベント8回開催し、平均7・75人の参加になる。

【質問3】

様々企画しているようだが、参加者が少ないのかなと思う。若者の意識改革とイベント企画のやりかたを考えるべきでは。

【町長答弁】

「タンポポの会」に任せるだけではなく、男女それぞれの言い分けや、本来に将来のことを考えているのか話を聞く機会を作って、把握しながら企画していきたい。



男女で一緒ににんにく植え体験

スポーツ振興について

【質問1】

健康な地域づくりを目指して運動に取り組んでいる。県民駅伝への参加もその一つだと思われる。近年、我が町は低迷しているが参加の位置付けと実行委員の活動状況は。

【教育長答弁】

第1に生涯スポーツの推進、第2にスポーツは教育の一環である。第3に郷土愛の醸成が

はかられる。実行委員活動は選手選考も兼ねた強化練習（合宿）、7月末から合同練習を行っている。

【質問2】

駅伝の選手選考は2ヶ月ぐらいで選んで練習という説明に受けられたが。

【教育長答弁】

普段には中・高生は部活動をしており、夏

【質問3】

昔は町でも秋に馬拉ソン大会を実施していたが、そういうものもやっていかなければ復活出来ないのかなと考えているが。

【町長答弁】

さまざまなイベントをしながら誘導していく必要はあると思う。教育、健康増進の立場、スポネットと話し合いをしながら、どんなやり方が出来るのか、もう一回見直す必要がある。町としては全方にスポーツの振興、強いスポーツ作りは出来ないかもしれないが、的を絞りながら協議していく。



駅伝の強化合宿の様子

施政方針に対する質問

3月定例会では、翌年度の町政運営について、町長が施政方針を述べます。議員はその施政方針に対し、疑問点等を質問します。今回は議員1人が質問しました。掲載内容は、質問者が要約し執筆しています。



沢口博二 議員

人口減少の問題について

【質問1】

具体的な施策を示してほしい。

【町長答弁】

社会減対策として、魅力あふれる仕事づくりにおいて、各産業への支援の拡充を行い、自然減対策として、子育て支援、高齢者の活躍を促す仕組みづくりに努める。

【質問2】

海外からの移住、定住を真剣に考えていたくないか。

【町長答弁】

ギルロイ市、ソサン市との交流人口の増加を目指しているが、海外からの移住・定住については、文化、風習の違いもあり、現在は考えていない。

アンテナショップについて

【質問】

アンテナショップを活用して、移住、定住を進めるといふ事だったが、どのように活動しているのか。

【町長答弁】

アンテナショップを活用して田子町の紹介

をしており、映像、パンフレットで町のPRを行い、さらにモニターツアーを企画して実施。東京田子会との交流を通じて交流人口の増加を目指している。

空き家策について

【質問1】

賃貸住宅化の中味を説明してほしい。

【町長答弁】

平成28年度から実施している「若者定住・移住者促進住宅等整備事業」の一部を拡充するもの。空き家のリフォームにつき、貸し手、借り手が協議し、リフォーム費用を上限260万円として、町が助成し助成金の一部を家賃でもって回収するものである。今後その事業内容や手法について、様々な検討を行いつつ実施したいと考えており、平成30年度は、町内で3棟の物件の賃貸化を進める予定としている。

【質問2】

町が空き家を買上げ、売買、賃貸等はないか。

【町長答弁】

空き家の賃貸住宅化を当面は進めることとしており、現時点では考えていない。行政が自ら普通財産として取得することはできないか、買い取り空き家の選定における公平性の確保が難しい、賃貸借は、賃貸借する同士、民間ベースで行うべきこと等の理由による。



アンテナショップ「北のプレミアムフード館」

議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会の参加、先進地の視察を行っています。

協議

○実施日 12月19日

平成29年第4回定例会の一般質問について協議。

○実施日 2月9日

次期定例会の一般質問等のあり方について協議。

○実施日 2月9日

平成30年第1回定例会の議事日程について協議し、事前通告された一般質問の内容を校閲した。

議会広報編集委員会

○実施日 1月10日

議会だより第94号の内容を確認し、1月24日に発行した。

○実施日 2月20日

議会だより第95号の構成、発行スケジュール等協議し、担当者を決めた。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 砂子田康雄委員
日沢一雄委員 尾形憲男委員

協議

○実施日 1月17日

田子高校入学者確保対策について協議し、2月7日に葛巻町及び軽米町を訪問し調査研修を行うこととした。

事務事業調査

○実施日 2月13日

委員会を開催し所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課】

平成30年度幼・小・中等の入学予定者数は昨年と同じ位のこと。

また、平成30年度奨学資金借入状況は大学の部6名、専門学校部の部1名、高等学校の部4名が申請をしているとのこと。

【総務課】

平成30年度当初予算に係る説明では、一般会計では前年度比較で5億4千万円増となっており、主に保育園整

事務事業調査

○実施日 2月13日

委員会を開催し所管に係る事務事業の調査を行った。

【診療所・老健施設】

小荷物専用昇降機更新。医師の配置は、県から引き続き1名派遣。田子、三戸医療連携は、引き続き協議。

【健康増進課】

介護保険料基準額50円値上げ。ピロリ菌検査。

新年度から地域包括支援課に名称変更し、包括ケアグループを加え3グループ体制に。

【住民課】

資源物の分別収集の対象にガラス瓶を加える。

【建設課】

1月18日青森、秋田両県選出国会議員へ陳情活動実施。

平成30年度の町・県工事等の概要について説明あり。

【産業振興課】

にんにくオリジナル種子の作付け状況、作業状況、袖平有機生産組合の散布実績、水稲と葉たばこの作柄状況、販売実績の説明。新規就農者14名。認定農業者連絡協議会は研修講習会を開催。田子町

【農業委員会】

農地の利用状況説明。

当初予算前年比5億円増 保育園整備事業など

総務・文教常任委員会

【構成委員】 日沢一雄委員長 砂子田康雄副委員長 宇藤大介委員
梶本義見委員 澤口勝委員

平成30年度当初予算に係る説明では、一般会計では前年度比較で5億4千万円増となっており、主に保育園整

1月末現在の町税などの徴収率は、葉たばこの販売時期がずれたことにより昨年度と比較しわずかに減となっているが、最終的には前年度並みになる見込みとのこと。また、委員会からは確定申告の時期を迎え、受付業務に間違いが起らないよう要望した。

健康増進課が名称変更 地域包括支援課に

産業・民生常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 蹴揚清人委員
沢口博二委員 欠端則夫委員

新年度から地域包括支援課に名称変更し、包括ケアグループを加え3グループ体制に。

今後の運営計画、農山漁村施設整備検討状況について説明を受ける。

総務・文教常任委員会視察研修報告

2月7日に、田子町議会の常任委員会である総務・文教常任委員会が視察研修を行いました。田子高校の入学確保を目指し、様々な取り組みを行っている岩手県の葛巻町と軽米町を訪問しました。

葛巻町



葛巻町職員から資料をもとに説明

維持をめざす。宿泊（学生寮）はくずまき高原牧場内にある宿泊施設を利用し、寮費は月額2万円。食事は毎日3食を提供。学生寮から学校まではスクールバスを運行している。これまで、兵庫県、北海道、神奈川県、東京都、などから毎年2〜3名の留学生を受け入れている。

葛巻町学習塾の開設

葛巻町での高校支援について、資料をもとに職員から説明を受けた。葛巻町では通学費の補助や、安価な給食の提供、医療費の無料化、海外研修への支援など、さまざまな支援を行っていた。中でも、次の2つは特色ある事業だと感じた。

くずまき山村留学

県外から入学する生徒を「くずまき山村留學生」として受け入れる事業を平成27年度から実施。生徒確保及び2学級

40%が登録している。講師は3名で非常に充実した中で生徒の学力の向上が著しいと言われていた。

軽米町



職員から軽米町の取り組みの説明

軽米町では、軽米高校に対する支援について、資料をもとに職員から説明を受けた。主な支援として、月額2万円を上限とした通学費助成や、1食あたり180円の給食の提供がある。また、学習面では外部講師による学習会等を開催し、基礎学力の充実と実践的な受験対策を行っている。英語検定や漢字検定の受験支援もしている。

おり、1人年1回、合格者には全額を、不合格者には半額の受験料を助成している。また、軽米高校の存続を願い、軽米高校同窓会やPTA等が発起人となり、「岩手県立軽米高校を応援する会」を立ち上げ活動している。

視察をして

少子化の中で特に郡部の生徒数の減少が著しいのは葛巻町、軽米町とも同様の悩みで、県立高校存続の問題は人口減少社会が急速に進むなかで、町の存亡に係わる最重要課題として位置づけて、町と議会が一体となった大胆な施策の実施の状況がうかがえた。

特に葛巻町においては、四方八方に広がる地域の中で通学補助費として730万円の支援。また、町内の生徒数減少の中で県外からの生徒募集を考えるが、県教委の県を超えての募集が認められない

中で、町と議会が一体となって県教委に要望活動を続け、山村留学の受け入れが実現。神奈川県、兵庫県、東京都などから入学していた。

魅力ある葛巻高校の支援として、公営学習塾「葛巻学習塾」の開設により、生徒の学力向上が、国立大学10名以上の実績があり、魅力ある葛巻高校とし、町外から入学数増加傾向にあり、郡部校の成功事例として参考にすべきと考え

(日沢一雄)

国会陳情及びふるさと祭り視察

1月18日、澤口議長、宇藤副議長、宮村議会運営委員長、日沢総務・文教常任委員会委員長、蹴揚、砂子田、椀本、欠端、尾形の9議員、山本晴美町長にて国道103号線及び104号線のバイパス道路（通称…世紀越えトンネル）の早期整備促進を図るため青森・秋田両県選出国会議員への陳情を実施しました。衆参両議員会館を訪問し要請書を滝沢求



大島衆議院議長と意見交換

参議院議員、高橋千鶴子代議士に直接手渡し、他議員には秘書を通じて要請しました。その後、衆議院議長公邸に大島理森衆議院議長を訪ね現状を報告、今後についてご教示いただきました。夜には、大島議長、滝沢参議院議員と懇談会を設けました。両先生には忙しい時間を割いていただき現状について率直な意見交換をする機会を作っていたいただきました。19日には、田子町からも出店している「ふるさと祭り」が東京ドームで開催されており、視察しました。出店数が多く詳細に見る事は難しかったが、平日の午前という時間帯でも盛況で、食による活性化の激戦をみる事ができました。その



ふるさと祭りの田子町の出店

後、神楽坂アンテナショップ「北のプレミアムフード館」、「フードアクションジャパン」の二か所を視察し、北プレでは、清藤良則代表取締役から今後の取り組みについて説明を受けました。この日は、田子町から振る舞いのサービスでPRを行っていた。今後の青果物の試験販売、消費者の動向を知るうえでのアテナショップの機能を十分に發揮していただきたいと思えます。

(尾形憲男)

平成29年度産の葉タバコ収納状況を調査

去る1月23日、盛岡市にある日本たばこ産業リーフセンターへ、地元産葉タバコの収納状況を視察してまいりました。

センター内に入りJTの原料本部長から平成29年度産の葉タバコの状況を説明頂き、昨年の悪天候の割には良好とのことでした。

JT原料本部としては、*加熱式タバコの普及により加熱式専用の原料（葉タバコ）も

順次青森県内で作付けして行きたいとのことでした。

次に鑑定場に移動し、販売状況を視察いたしました。当日は長坂丹内総代区の方々が販売しておりました。販売は順調に進んでおり、かなりのタバコ包がAタイプの良品で通過していききました。

当町でも数年前から立ち枯れ病対策として予算を計上してきましたが、良い結果につながっていないと思われまます。また、30年度作から田子町にも少しではあります。加熱式タバコの原料も作付けされるとのこと。これからも私は、安定収入作物として守って行きたいと思えます。

(宮村尚哉)



担当者から収納状況の説明



葉タバコの品質鑑定

※加熱式タバコとはタバコを燃焼させずに機械的にタバコ葉を加熱しニコチンを含むエアロゾルを生成し吸引します。代表的な製品としてはフィリップモリス社の「アイコス」、ブリテイッシュ・アメリカン・タバコ社の「グロー」、日本たばこ産業の「フルーム・テック」などがあります。

一戸市・三戸町・田子町調査研究会

去る1月29日、二戸ロイヤルパレスにおいて、二戸市、三戸町、田子町議会議員協議会並びに調査研究活動研修会が開催されました。

な会合となりました。

研修会では、「広域観光の推進について」の演題で講師にIGRいわて銀河鉄道株式会社代表取締役社長菊池正佳氏による講話を拝聴いたしました。

協議会では三市町に係わる、産業、経済、ライフラインの整備、拡張が検討され、圏域内の住民の暮らし向きの向上、将来のあり方、今後の各市町運営に付いての課題が具体的に抽出され、非常に濃密

菊池氏いわく、観光とは光を観ると書く。それぞれの地域の光、産業、特産物、景勝地、人材を観て感動すること。他の地域の人からは分からない事



講師の菊池氏

が見であり、喜びである。三市町それぞれの一番は何か、それがみんなで共有されて始めて地域おこしとなり得る。何かをなす際には行政の力は必要であるが、主役が不在では駄目で、主役とは人であり、コミュニケーションである



講演を聞く3市町の議員

り、行政には口を出してもらわない。地域を動かすのは、若者とバカ者。身を粉にして動けるバカ者とそれに付いていく若者と応援するよそ者。地域が潤うためにどうしたら良いか、みんなで本気で考えること。大所高所から物事を判断し、大きな視野で地域を守り支えていこうと結びました。

(宇藤大介)

連携中枢都市圏の形成に係る勉強会

2月9日、五戸町において八戸圏域連携中枢都市圏議員連盟視察会並びに講演会が実施されました。はじめに五戸町営ブドロク牧場を視察しました。昭和36年に開設された公共牧場で、国の「担い手育成総合整備事業」を活用し、平成20年度から24年度にかけて草地造成やキャトルセンター等を建設し、夏期放牧は最大130頭、冬



ブドロク牧場の牛舎

期預託は概ね10ヶ月齢の繁殖雌牛を最大100頭まで収容可能な周年預託施設で、肉用牛繁殖農家から牛を預かることで、農家の牛舎に空きを作り、飼養頭数増頭を支援し、育成牛の頭数確保につなげ、肉用牛生産基盤の整備を図るとともに、地域内一貫経営に取り組むことで、五戸町が誇る銘柄牛「あおもり倉石牛」のブランド力強化、生産拡大にも貢献しているとのことでした。

講演では、総務省甘利英治氏による「連携中枢都市圏の最新の動向について」との題目による講話を拝聴いたしました。地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コ



甘利講師による講演会

ンパクト化とネットワーキングにより人口減少、少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することが連携中枢都市圏の意義であり、高次の都市機能の集積、強化、全体の生活関連機能サービスの向上を目的とする取り組みの推進の強化に主眼を置き、地域住民の福祉の向上をはかることが大切であると結びました。

(宇藤大介)

ひと言インタビュー

定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。

楽しいイベントで創遊村をにぎやかな村に



川名 美夏 さん (48)
Takko cafe
営業時間 10:00~16:00
問い合わせ ☎080-6645-7227

① 着任先に田子町を選んだ理由は？

青森県での田舎暮らしを目標にして、いちごを育て、ケーキを作りた
いと思っていた私に、6次産業推進
担当の募集はぴったりでした。田子
町でいちごは少々ピント外れでは
が、面接の時に、「他の作物でも頑張
ってください」と優しい言葉をいた
だき、各種野菜や果物を使ってお菓
子を作るようになりました。

② 田子町で暮らしてどうでしたか？

町の方が親切にしてくださって、
私のわからない、困っている事を手
伝って解決して下さいました。こんな
とか進んでくれました。こんなと
きに相談するのは誰が良いですかと
聞くと適切な方を教えてくれる、優
しい町内の方々に感謝です。

③ これから定住しての目標は？

タプコプ創遊村の高台でTakko
Cafeを運営しています。創遊村のカ
フェなので、創って遊ぶ事に特化し
たカフェにしたいと、カフェ内で体
験できる物を増やしています。年に
2回のタプコプマルシェは定番で、
その他にも楽しいイベントを開催し、
町内外から人をたくさん呼んで賑や
かな村にしたいです。

④ 地域おこし協力隊を考えている人に

地域の皆さんと少しでも仲良くな
れるように毎日、町内を歩き、お話
を聞き、自分の興味が持てる事を探
すようにしました。私は初めての田
舎生活が田子町でしたが、田子町に
着地できて本当に良かったと思いま
す。田子町には電車も高速もないで
すが、それがなくても、都会にはな
い素晴らしいものが揃っていて、都
会以上の贅沢な生活だと思えます。

⑤ 要望などはありますか？

もっと町内の方と一緒にイベント
を運営していきたいです！
お手伝いお願いします！

お忙しいなかご協力いただき、あり
がとうございました。

編集後記

厳しい寒さも終わり、春の気配が感じられ
る季節になり、「議会だより第95号」を発行す
ることが出来ました。

今定例会の予算特別委員会において平成30
年度、52億を超える一般会計予算を決定し、
各事務事業に力を入れて頑張りたいと思います。
私は毎号この「議会だより」を通じて議会・
議員活動を紹介していますが、編集作業を進
めるうちに改めて議会とは何なのか、議員
の存在価値とは何なのか？という問いかけを
感じています。

そこで「議会だより」を通じて、議会・議
員の活動状況を正確に分かりやすくお伝えし
て自分の問いかけに対応して行き、議会と町
民をつなぐ手段として編集して行きたいと思
います。

宮村尚哉

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会 (第95号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 砂子田康雄

日沢 一雄

尾形 憲男

執筆協力

沢口 博二

欠端 則夫

川名 美夏